



# QuickTime 7

世界のデジタルメディアの標準規格

## QuickTime の利点

### 高品質のオーディオとビデオ

- ・ 低速のデータレートで鮮明な画像を表示する H.264ビデオ。3GからiChat AV、フルHDまで多様な用途に利用可能
- ・ MacとWindows PCの両方で、サラウンドサウンドを実現するマルチチャンネルオーディオ
- ・ 24ビットのサンプリングレートと最大192kHzのサンプリング周波数、あるいはそれ以上でのオーディオファイル処理が可能なオーディオサポート

### 業界唯一の標準対応

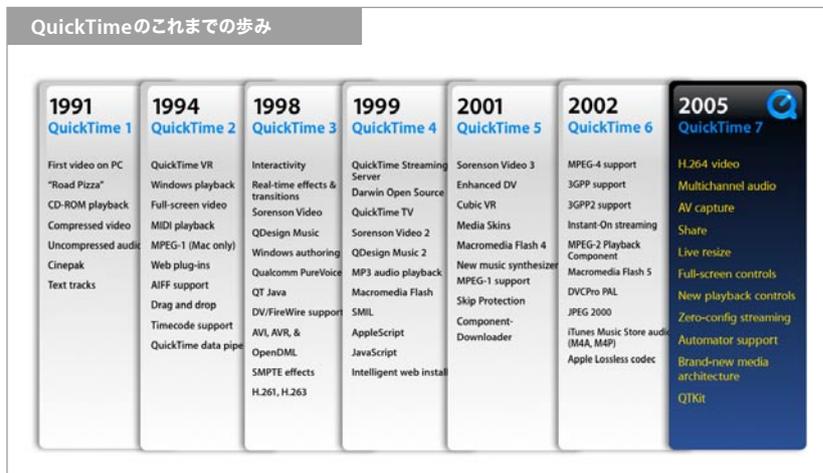
- ・ H.264ビデオとAACオーディオ
- ・ ISO準拠の MPEG-4 (.MP4) ファイルの作成と再生
- ・ モバイルマルチメディアの世界標準3GPP (.3GP) および3GPP2 (.3G2) ファイルの作成と再生
- ・ その他、静止画像フォーマット、ストリーミングプロトコル、SMPTEエフェクトなど、数多くの業界標準に対応

### デジタルメディアのためのエンドツーエンドのソリューション

- ・ QuickTime Player – 複数のプラットフォームでのデジタルメディア再生
- ・ QuickTime Pro – MacとWindows PCの両方で、オーディオ/ビデオコンテンツのオーサリング
- ・ QuickTime Broadcaster – インターネット経由ですばやく簡単に配信できるライブイベントの作成
- ・ QuickTime Streaming Server – あらゆる数の視聴者に向けてライブおよびオンデマンドメディアをリアルタイムで配信

QuickTimeはMacおよびWindows PCで高品質のオーディオビデオの作成、配信、再生を行うアップルの定評あるテクノロジーです。デジタルメディアの先駆者として15年前に誕生し、パーソナルコンピュータ上でフィルムをキャニスタから取り出してコンピュータに置いた最初のソフトウェアです。そして今日、QuickTime 7が、映画の鑑賞と制作、そしてその間でさまざまな作業に携わるすべてのユーザのデジタルメディア体験を大きく変えます。H.264ビデオなどのわくわくするような数多くの新機能が詰まったQuickTime 7にも、世界のデジタルメディアのスタンダードとしての伝統が脈々と受け継がれています。

QuickTimeは安定性、スケーラビリティ、拡張性を最初から考慮して設計された、デジタルメディアソリューションの開発と導入のためのパワフルで包括的なプラットフォームです。複数のプラットフォームに対応する信頼性の高いマルチメディアアーキテクチャ、ISO (International Organization for Standardization) からMPEG-4ファイルフォーマットの基礎に選ばれた定評あるファイルフォーマット、強力な統合アプリケーションをすべて備えたQuickTimeには、自然で高品質、リッチなメディア体験の作成に必要なあらゆるツールが揃っています。



## 比類のない品質

1991年の公開以来、QuickTimeの使命は、Web上での最高品質のマルチメディア体験を制作するための包括的かつ最高のプラットフォームを絶えず提供し続けることでした。この伝統を受け継いだQuickTime 7は、H.264ビデオとサラウンドサウンドオーディオなどの革新的な最新の機能を備えた画期的なリリースであり、MacまたはWindows PCで究極のデジタルメディア体験を実現します。

## H.264の利点

**かつてない高画質** H.264は、革新的な最新のビデオ圧縮技術によって、常に鮮明で美しい画像と最高のメディア体験を提供します。

**極めて高い効率性** H.264は、これまでのビデオフォーマットの4分の1から2分の1のデータレートで、信じられないようなビデオ品質を実現します。

**3GからHDまでのフォーマットに対応** 1つのコーデックですべての配布フォーマットに対応します。H.264を使えば、モバイルマルチメディアからインターネット、HDTV、さらにそれ以上のフォーマットで、素晴らしい画像が得られます。

**現行のマシンでHD再生** 今使用しているG5コンピュータで、高品位H.264ビデオが再生できます。Apple Cinema HD Displayとデュアルプロセス搭載のPower Mac G5、または同等のWindows PCがあれば、ホームオフィスがホームシアターに早変わりです。

**業界標準に準拠** QuickTime 7 Proで作成したH.264コンテンツは、広範なH.264デバイスで再生できます。たとえば、携帯電話、セットトップボックス、DVDプレーヤーなどで再生が可能です。

## H.264ビデオ

H.264は、MPEG-2以来、ビデオコーデックにおける最大の進歩です。ビデオ圧縮テクノロジーの最新技術を取り入れ、極めて低いデータレートで驚くほど高品質の画像を実現します。また3G、モバイルデバイス、DVD、放送用のHDビデオまで、広範な用途に対応します。MPEG-4標準の一部（MPEG-4 Part 10）として承認され、3GPP、3GPP2、MPEG-4、HD DVD、Blu-ray Disc対応の業界標準ビデオコーデックに採用されているH.264は、さまざまな業界で次世代ビデオとして認識されています。業界標準であるH.264は、多くのデバイスやメディアプレーヤーで使用できます。また放送、ケーブルテレビ、ビデオ会議分野の多くの企業が、H.264をビデオコーデックとして採用することを検討しています。世界的なコンテンツプロバイダもH.264を採用しています。たとえば、BBC Motion Galleryは、プロである顧客に自然な画質の映像を提供するためのコーデックとしてH.264を選定しています。

用途	解像度とフレームレート	データレートの例
モバイルコンテンツ	176x144、10~15 fps	50~60 Kbps
インターネット/SD (標準品位)	640x480、24~30 fps	1~2 Mbps
HD (720p、高品位)	1280x720、24p	5~6 Mbps
フルHD (1080p)	1920x1080、24p	7~8 Mbps

QuickTime 7 Proでは、最先端のH.264ビデオコーデックを使用して鮮明なビデオ画質を実現できます。アップルが開発したこの業界標準のコーデックをQuickTimeに採用することによって、低いデータレートで鮮明な画像を実現する先進のテクノロジーと高度なテクニック（特許出願中）が導入されます。アップルの革新的なH.264エンコーダには次の特長があります。

- 希望のビットレート、最適数の圧縮パスで可能な限り最高の結果が得られるインテリジェントなマルチパスエンコーディング
- 差し迫った締め切りに対応するためのドラフトエンコードを作成する時間節約型シングルパスエンコーディング
- 生放送やiChat AV用のリアルタイムエンコーディング
- ストリーミングやCD/DVD再生のような、データレートに制限がある用途のためのピーク制限付きVBRオプション
- より効率的にムービーデータを表現するための高度なフレーム並べ替え(Bフレーム)のサポート

## サラウンドサウンドオーディオ

QuickTimeはビデオが美しいだけではありません。オーディオも秀逸です。QuickTimeは、業界標準のAAC (Advanced Audio Coding) をはじめとして10以上のオーディオフォーマットに対応しているので、3Gモバイルデバイスへの配布、インターネット経由のストリーミング、あるいは放送と用途に合わせて最適なコーデックを選択できます。

QuickTime 7はオーディオのプロを念頭に設計されています。AIFF、WAV、MOV、MP4 (AACのみ)、CAF、AAC/ADTSフォーマットの4チャンネル方式、5.1、7.1などのほとんどの構成で、最大24チャンネルの再生がサポートされており、真のサラウンドサウンド体験が得られます。また24ビットサンプリング、最大192kHzのサンプルレートでのフル解像度オーディオにも対応しています。H.264ビデオとともに、QuickTime 7によって、MacやWindows PCでの映画やゲームに臨場感が加わります。

## QuickTimeへの組み込み

このようなオーディオ/ビデオテクノロジーはQuickTimeアーキテクチャの一部として組み込まれているため、QuickTimeベースのアプリケーションであれば、iChat AVやiTunes、定評あるFinal Cut Pro、MacまたはWindows PCで動作する多くの他社製アプリケーションなど、すべてがその機能をフルに活用できます。つまりQuickTime 7にアップグレードするだけで、今使用しているアプリケーションで、新しい機能がすべて利用できるのです。

## 開発ツールとしてのQuickTime 7

QuickTimeアーキテクチャには、2500以上のクロスプラットフォームAPIが用意され、他社製ソフトウェアの開発にあたってマルチメディア機能をアプリケーションに追加することができます。QuickTime 7には、開発用の新機能が数多く用意されています。

### Mac OS X:

- QTKit – QuickTime用の新しいCocoa開発フレームワーク
- Mac OS X用の新しいCocoaブラウザプラグイン
- Mac OS X Core Audioの上に構築され、マルチチャンネルオーディオのキャプチャ、インポート、再生、エクスポートに対応する一新されたサウンドアーキテクチャ
- Bフレームなどの複雑なメディアタイプに対応する新しいビデオアーキテクチャ
- TigerのCore ImageおよびCore Videoを利用するための新しいビジュアルコンテキストAPI
- QuickTime for Javaの強化

### Windows:

- QuickTime APIをActiveX (COM) インターフェイスで利用するための新しいCOM/ActiveXコントロール
- マルチチャンネルオーディオのインポート、再生、エクスポートに対応する新しいサウンドアーキテクチャ
- VBスクリプトにネイティブに対応するため、アプリケーション開発とQuickTimeワークフローの自動化が可能
- QuickTime for Javaの強化

## 強固なプラットフォーム

QuickTimeの中心は基盤となるフレームワークです。数千のソフトウェアアプリケーションに対応する機能豊富なマルチメディアレイヤーを持つQuickTimeアーキテクチャは、デジタルメディアを作成するための拡張性、柔軟性に富んだ強力なプラットフォームとして設計されるとともに、新しいバージョンが常に過去のバージョンとの後方互換性を維持しています。そのため、10年以上も前にQuickTime 1で作成されたファイルでも、最新のQuickTime 7で同じように再生できます。他のマルチメディアテクノロジーには真似のできない快挙です。

QuickTimeには、MacとWindowsの両方の開発用に、完全なドキュメントと2,500以上のアプリケーションプログラミングインターフェイス(API)を持つソフトウェア開発キット(SDK)が用意されています。APIは、オーディオ、ビデオ、静止画像、テキスト、Macromedia Flashなど、200以上のメディアタイプの表示、インポート、エクスポート、変更、キャプチャを行うことができます。QuickTimeでは、H.264、MPEG-4、3GPP、3GPP2などの標準規格をサポートしているため、作成したファイルを多くのメディアプレーヤーや市販のデバイスで再生できます。

QuickTime 7ではアーキテクチャが刷新され、QuickTimeベースのアプリケーションが、Mac OS X version 10.4 Tigerに搭載された新しいCore Media Serviceのハードウェアアクセラレーション対応ビデオ処理技術を利用できます。また、Macintosh対応ソフトウェアの開発者は、QuickTime 7の新しいプログラミングインターフェイス、QTKitも利用できます。このインターフェイスはCocoaクラスのセットであり、ネイティブのMac OS Xプログラミング環境を使って、アプリケーションで簡単にQuickTimeを使用できます。



QuickTimeアーキテクチャは、過去15年間にわたってマルチメディアの基盤として進化を続け、現在、最先端のマルチメディア体験を実現する数多くの革新技術が含まれています。QuickTimeは常に最先端の技術が利用できるため、プラットフォーム依存のMacおよびWindowsアプリケーションの開発者にとって、QuickTimeは当然の選択です。

## 標準規格の利点

**信頼** 当然のことですが、標準規格は信頼して使用できます。標準規格であれば、どのCDプレーヤーでもCDが再生でき、どのメーカーのテレビでもテレビ放送を見ることができ、どのDVDプレーヤーでもDVDが再生できます。

**技術革新と新しい市場** 標準規格があれば、小さな競合技術が数多く存在するのではなく、革新的な新しいコンシューマ製品を広く採用する基盤が形成されます。衛星テレビは、1994年に開発されたMPEG-2標準に基づいています。MP3プレーヤーの普及は、標準のオーディオフォーマットのおかげです。

**経済性** 標準規格が承認されているので、業界各社は技術を重複して開発するのではなく、低コストでそれを導入する方法に重点的に取り組むことができます。たとえば放送およびDVD業界はMPEG-2標準規格を採用することによって、それに代わる標準を開発するのではなく、MPEG-2メディアを作成、配布する革新的なツールの開発を重点的に行うことができ、配布コストの削減につながります。H.264の登場により、鮮明な映像のHDTVをはるかに小さなファイルで配布でき、帯域幅とストレージにかかるコストが削減されます。

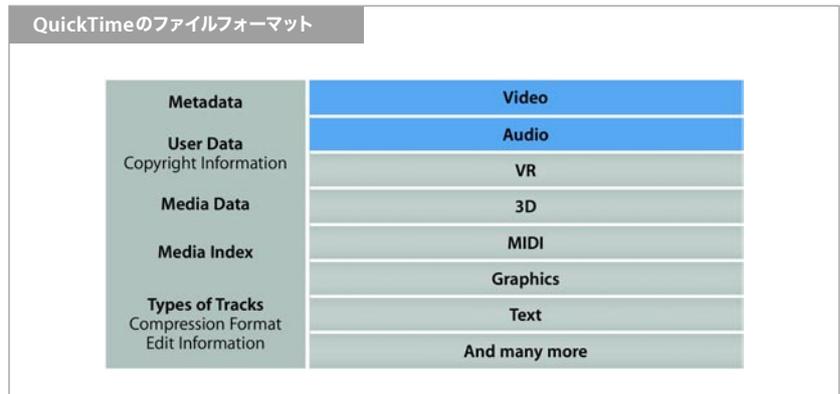
**選択の容易さ** 標準規格が存在すれば、メディアネットワークを構築する場合に、複数のベンダーの製品から選択して1つのスケーラブルなシステムに統合できます。ベンダー間の競争により、コスト、パフォーマンス、機能が異なるさまざまな製品から選択でき、選択の幅が広がります。

**コスト削減** 標準規格を使用することにより、コンテンツプロバイダは時間とコストがかかるエンコーディングを行って、同じ素材を複数のフォーマットで管理する必要がなくなります。

**売上の拡大** コンテンツプロバイダは、標準規格を利用して、モバイルネットワーク、インターネット、デジタルテレビなどの新しいプラットフォームでコンテンツを提供できます。

## 信頼性の高いファイルフォーマット

QuickTimeと他のメディアプラットフォームの違いを際立たせているのが、.MOVファイルフォーマットです。.MOVファイルフォーマットはあたかも「コンテナ」のような構造に設計されているため、オーディオ、ビデオからMacromedia Flash、テキスト、画像、スプライトに至るまで、さまざまなメディアタイプをコンテナの中に格納できます。これらのメディアは、それぞれ個別の「トラック」に保存されるため、操作の容易さだけでなく過去のバージョンとの後方互換性も確保されます。開発者は、QuickTimeコンポーネントを作成し、新しいメディアタイプ(トラック)を追加するだけで、.MOVファイルフォーマットを簡単に拡張できます。



安定性、拡張性、柔軟性を兼ね備えたQuickTimeのファイルフォーマットは、世界のデジタルメディアの標準規格です。QuickTimeフォーマットは、2000年、MPEG (Moving Picture Experts Group) によってMPEG-4の基礎に採用されました。MPEG-4の仕様の策定にあたって、MPEG委員会はQuickTimeファイルフォーマットの上に新しい標準規格を作成することにしました。このフォーマットは十分な実績があり、スケーラブルなトラックベースの設計のため、標準化の過程で新しいテクノロジーを容易に追加できたからです。このようにQuickTimeとMPEG-4は深い根のところでつながっているため、標準規格が新しくなればQuickTimeもすぐに対応できます。たとえば、3GPPと3GPP2の2つの標準化団体が、MPEG-4ファイルフォーマットに基づいてそれぞれのファイルフォーマットを作成したとき、アップルがこれらの新しいファイルフォーマットをすぐQuickTimeアーキテクチャに追加することができたので、ユーザは標準準拠のモバイルデバイスで利用できるコンテンツを作成できるようになりました。

## 中心にあるのは「標準規格」

業界は標準規格を中心に動いています。標準規格を中心に市場が形成され、革新的技術が開発され、ベンダー間の互換性や相互運用性が保証されます。それによって、ユーザは単一のベンダーへの依存度を最小限にできるだけでなく、多くの選択肢から製品を自由に選べます。このような例は、家の中を見渡しても数限りなくあります。DVDプレーヤーやテレビを選ぶときは、コンテンツではなく価格や機能によって選択します。デジタルメディア業界では、ビデオCD、DVD、IP(インターネットプロトコル) 経由のいずれの場合も、MPEGファミリーの標準規格(MPEG-1、MPEG-2、MPEG-4) が長期にわたって優れた品質を支えてきました。アップルはこのような業界動向を踏まえ、これらの標準規格に対応しながらQuickTimeの進化を図るとともに、それ以上の機能を追加してきました。

QuickTimeの標準規格への対応				
H.261	H.263	MPEG-4	H.264	TIFF
DV	ALaw	SMPTE 258M	AAC	Unicode Text
CCIR 601	MPEG-1	RTP	SMIL	AMR
PNG	MIDI	MPEG-2	3GPP	3GPP2
GIF	QCELP	IEEE 1394	XML	JPEG2000
JPEG	IMA	MP3	IIDC	RTSP
μLaw	Java	SDV	SDP	3G Timed Text

静止画像フォーマットからDV、MPEG、3G...と、マルチメディアの標準規格は常に進化し続け、新しい産業を生み出してきましたが、QuickTimeは常にその中心に存在します。したがって、QuickTimeプラットフォームでコンテンツを作成すれば、最新の業界標準の平均的なレベルを維持できるとともに、さまざまな市販のデバイスやメディアプレーヤーで再生できるのです。

## 革新的なテクノロジー

これまでQuickTimeの新バージョンには、その時々デジタルメディア業界を大きく前進させる画期的なテクノロジーが搭載されてきました。QuickTime 1は、ビデオ圧縮フォーマット「Road Pizza」によってパーソナルコンピュータ上で初めてスムーズなデジタルビデオ再生を実現し、デジタルメディア業界の先駆けとなりました。QuickTime 6は、ISO準拠のMPEG-4、3GG、3GPP2に完全に対応し、そして今、H.264ビデオに対応したQuickTime 7が業界をさらにリードしています。

QuickTimeが可能にするのは、高品質のオーディオとビデオだけではなく、ストリーミング、フォトグラフィ、インタラクティブティにおける画期的な機能を提供しているのです。

### インスタントオンストリーミング

アップルの特許出願中の技術であるインスタントオンストリーミングでは、ユーザは、リアルタイムストリームを瞬時にスムーズに再生できます。またタイムスライダを使って、ムービーの特定の場面に瞬時にジャンプしたり、「スクラブ再生」を行うことができます。またインスタントオンは、ネットワーク回線の混雑によるストリームのスキップや中断を防ぐアップルの特許出願中の技術、スキッププロテクションの進化形で、これによってユーザのストリーミングメディア体験が変わります。

### QuickTime VR

QuickTime VR (Virtual Reality) は、数々の賞に輝くアップルのテクノロジーです。写真イメージの平面的な2Dの世界を現実的な体験に変え、あたかもそこにいるかのようにその場所を探検できます。QuickTimeムービーでVRを使うと、MacまたはWindows PC、QuickTime Player、マウスだけで、画像や対象物が視野360度の世界で体験できます。

### インタラクティブ機能

QuickTimeでインタラクティブな要素を追加すると、視聴者がムービーを見るだけでなく体験できるようになります。これには、Macromedia FlashまたはQuickTimeスプライトという、アニメーション化できる小さなベクトルベースのグラフィックスを使います。QuickTimeでは、オーディオ/ビデオトラックとともにFlashトラックをムービー (.MOV) に追加して、ナビゲーションボタンからフルアニメーションまでも利用できます。スプライトは、QuickTimeムービーの1つのトラックタイプとしてムービーの一部をアニメーション化したり、データベースのメディアを動的に生成したり、ムービーを他の複数のムービーと組み合わせて使用したりといったさまざまな機能をムービーで実現できます。

### メディアスキン

もう一つの強力なテクノロジーにメディアスキンがあります。メディアスキンはQuickTimeのあらゆる機能が統合され、大きさや形、見栄えが自由に変えられる環境です。従来のスキンはメディアプレーヤーを飾ることしかできませんでした。QuickTimeメディアスキンでは、デジタルメディアを表示する環境を作成者が制御できます。スキンはQuickTimeムービーのトラックの1つで、ムービーファイルと一緒に配布されるため、ムービーごとに独自のインターフェイスを設定し、オーディオ、ビデオ、静止画像、スプライト、QuickTime VRなど、QuickTimeが認識するメディアタイプとテクノロジーを組み合わせることができます。



QuickTimeには常に最新技術が取り入れられるため、ユーザはオーディオ/ビデオにとどまらない、究極のデジタルメディア体験が約束されます。これはすべての新しいテクノロジーを1つのムービーに組み込めるMOVファイルフォーマットだからこそ可能なのです。

### 強力な統合アプリケーション

QuickTimeのプラットフォームには強力な統合アプリケーションが用意されています。これらは全体として、3GからHDまで業界最高のマルチメディアの作成、配布、再生を行うエンドツーエンドの標準ベースのソリューションとなります。

### QuickTime Player

QuickTime Playerは、MacおよびWindowsコンピュータ上でビデオ、オーディオ、VR、画像ファイルの再生、インタラクション、表示を行う使いやすい無償のアプリケーションです。シンプルで洗練されたQuickTime Playerは、操作が明快でわかりやすく直観的なので、コンテンツに集中できます。もちろん、邪魔な広告は一切ありません。200以上のメディアタイプが再生できるQuickTimeは、Webコンテンツの再生から映画の編集用フィルムのレビューまで、あらゆる用途に理想的なメディアプレーヤーです。

#### QuickTime 7 Playerの特長

- 極めて低いデータレートで驚くほどの高画質を実現するH.264ビデオ
- デスクトップで完全なサラウンドサウンドを再生するマルチチャンネルオーディオ
- プレーヤーウィンドウのサイズを変更してもクリアで流れるような再生が続く、再生しながらのリサイズ
- Web上で面倒な作業なしに鑑賞できる設定ゼロのストリーミング
- 充実したムービー体験のための設定調整ができる新しいまたは強化された再生コントロール
- 視覚障害を持つ方のためのスクリーン読み上げ機能に対応
- Mac OS X v10.4 Tiger上で簡単に検索できるSpotlight (Mac OS X) との親和性
- Web上のエンターテインメント情報に手軽にアクセスできるまったく新しいコンテンツガイド

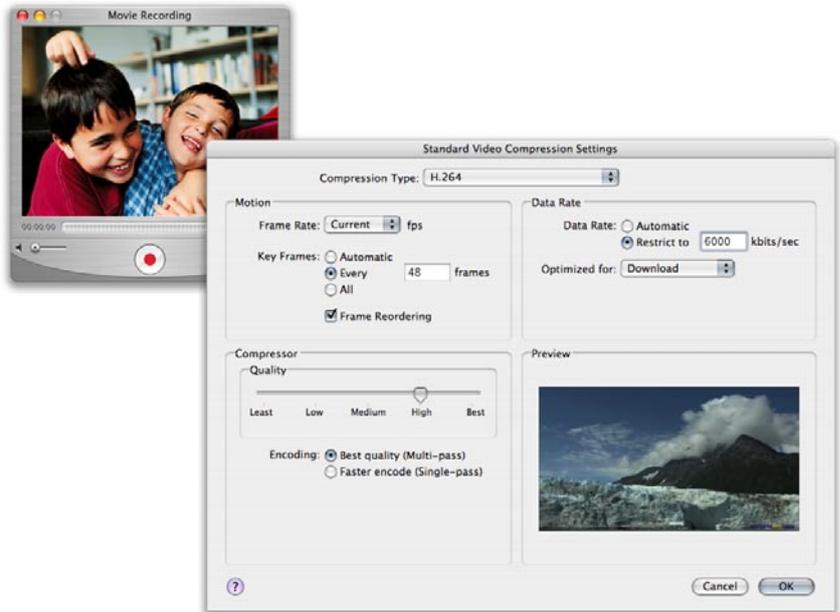


### QuickTime 7 Proの機能

- あらゆるデータレートで驚くほど美しい画質を実現するH.264エンコーディング
- 5.1サラウンドファイルを作成するマルチチャンネルオーディオ作成機能
- クリック1つでビデオコンテンツを作成できる録画機能 (Mac OS Xのみ)
- Podcastやナレーション付きのスライドショーを作成するための録音機能
- 美しいビデオを手軽に作成して、emailまたはMacのHomePageでムービーを共有 (Mac OS Xのみ)
- フルスクリーンモードのコントロールで簡単に再生
- 複数のムービーを一度にエンコードしながら、別のプロジェクトの作業を続ける並行書き出し (Mac OS Xのみ)
- ムービーの環境設定の改良によりさらに容易になったムービートラックのオーサリングや操作
- 安定した高音質再生のためのAACの安定品質モード

### QuickTime Pro

QuickTime Proは、MacまたはWindows PCでコンテンツを作成するための、驚くほど強力で、かつ使いやすいアプリケーションです。数回のクリックでプロ品質のコンテンツを作成できる機能を持つQuickTime Proを使えば、映画ファンのあなたも映画監督の気分が味わえます。簡単な編集やオーディオトラックの置き換えから、フルHDビデオの作成やフルスクリーンでのムービー再生まで、QuickTime Proはメディアに関するすべてのニーズに対応するパーフェクトなアプリケーションです。



QuickTime 7 Proではクリック1つで映像と音声をキャプチャできるので、簡単に自分のビデオレターを作ることができます。QuickTime 7 Proがあれば、MacでもWindowsでも美しいH.264ビデオが簡単に作成できます。

### QuickTime Broadcasterの機能

- H.264のライブイベントの配信 (QuickTime 7が必要)
- 640 x 480、30 fpsというハイパフォーマンスな放送品質のライブイベントの配信
- ライブイベントを携帯電話に配信する3GPP対応
- 初心者ユーザにも使いやすいインターフェイス
- プロ向けの高度な機能
- ライブ配信中のイベントをハードディスクに自動的に保存するインスタントVOD

### QuickTime Streaming Serverの機能

- 多くのデバイスやメディアプレーヤーで利用できる標準のMPEG-4と3Gファイルを使ったネイティブなストリーミング
- バッファリング時間を大幅に短縮し、スムーズな再生を行うための、インスタントオンストリーミング
- 何人にもハイパフォーマンスなストリーミングが可能
- サーバサイドのすべてのメディアとパブリッシングを安全にリモート管理するQTSS Publisher
- ストリーミングサーバの機能を拡張するプラグインのAPIアーキテクチャ
- 他のプラットフォームからストリーム配信を行うためのDarwin Streaming Serverオープンソースプロジェクト

### QuickTime Broadcaster

QuickTime Broadcasterは、アップルのライブエンコーディングソフトウェアです。インターネットや高速ワイヤレスネットワーク経由で配信するプロ品質のライブイベントを作成します。QuickTime Broadcasterは、QuickTimeアーキテクチャをフルに利用し、H.264やAACオーディオを含め、QuickTimeが対応するすべてのコーデックを使って配信します。初心者ユーザにも熟練ユーザにも対応し、すべての設定を完全に制御しながらすぐに配信が始められます。

### QuickTime Streaming Server

QuickTime Streaming Server (QTSS) は、非常に強力な標準ベースのストリーミングサーバです。ライブや擬似ライブ、オンデマンドのメディアを、高速ワイヤレスネットワークなどのIPベースのネットワークで配信します。QTSSはMac OS X Serverに含まれているため、ストリーミングライセンス料金が不要なので、費用をかけずに配信先を増やすことができます。QTSSにはQTSS Publisherという、インターネット上のMacintoshコンピュータからサーバサイドのメディアを管理する使いやすいアプリケーションが用意されています。QTSS Publisherプレイリストの作成からWebページの制作まで、QTSS Publisherはストリーミングから不確実性を排除します。

### Darwin Streaming Server

Darwin Streaming Serverは、QuickTime Streaming Serverのオープンソース版です。QuickTime Streaming Serverとコードベースは同じですが、Darwin Streaming Serverの方がカスタマイズの幅が大きく、さまざまなプラットフォームで実行可能なので、ニーズに合わせて調整できます。

## QuickTime の用途

エンドユーザ、ソフトウェア開発者、プロのメディア制作者は、QuickTimeを使って多くのプラットフォームやデバイスでデジタルメディアの体験、制作、配布、アーカイブができます。以下では、ユーザのタイプごとに、QuickTimeの一般的な利用例を説明します。

### QuickTime を選ぶ理由

QuickTimeでは使いやすく強力な数々のツールが利用できます。また企業や機関全体への導入も容易です。

**複数のプラットフォームに対応** MacとWindowsの両方で、同じ品質のマルチメディア体験が得られます。QuickTimeは無償でダウンロードできるので、作成したメディアを誰もが楽しめます。

**無償の配布ライセンス** CD-ROMタイトルを配布する場合や、デジタルカメラやパーソナルコンピュータなどのデバイスを提供する場合、または企業や団体の数千台のコンピュータをインストールする場合にも、QuickTimeのライセンス料は不要です。<sup>1</sup>

**ストリーミング料金が不要** QuickTimeベースのストリーミングソリューションは、ビデオオンデマンドコンテンツや生放送の導入にあたって、最も費用効率の高いソリューションです。高価なストリーミング料金や専用のネットワークインフラストラクチャが不要なので、簡単かつ手頃なコストでストリーミングコンテンツを組織のネットワークまたはWebサイトに追加できます。

### コンシューマ

最新の映画予告編の鑑賞から、友達や家族に送る短いビデオクリップの作成まで、QuickTime PlayerとQuickTime Proがあれば、MacでもWindowsでも最高のデジタルメディア体験が実現できます。QuickTime Playerには邪魔な広告もWebブラウザもないので、メディアだけに集中することができ、作成者が意図したとおりの体験が得られます。一新されたQuickTime 7 Playerは、ムービーのサイズを変更してもクリアで流れるような再生が続きます。オーディオのピッチを変えずにムービーの再生速度を変える新しいコントロールを備えています。また視力障害者のための読み上げ機能など、便利な機能が搭載されています。

そしてわずか3,400円で購入できるQuickTime Proは、数回クリックするだけでプロ品質の結果が得られる費用効率の高いアプリケーションです。映像を音声付きで録画できる使いやすいインターフェイス、emailやMac<sup>2</sup>によるメディアの自動共有、映画館のようなフルスクリーンの再生。映画ファンのあなたも映画監督の気分が味わえます。<sup>3</sup>

### プロのメディア制作者

制作から配布まで、QuickTimeはプロのメディア制作者にはなくてはならないアプリケーションです。最新映画を制作する場合、デジタル編集用フィルムのレビュー、予告編の作成、映画の仕上げの編集など、どの作業にもQuickTimeが必要です。QuickTimeは長年の実績とスケラビリティに定評がある理想的な交換フォーマットで、非圧縮ソースファイルからDV、H.264まで、10種類以上のオーディオ/ビデオフォーマットと200種類以上のメディアタイプを再生できます。

QuickTime Playerは、MacとWindowsの両方で、プロ品質のメディアをすばやく簡単に、かつ正確にレビューするための重要なツールを備えています。フレーム精度の「スクラビング機能」では、ムービーのすべてのフレームを正確に分析できます。ジョグシャトルを使えば、ムービーのフレームをすばやく早送り、巻き戻して特定のショットを探せます。サラウンドサウンド再生では、まさに映画館の観客のような体験ができます。これらはハリウッドで必需品とされているQuickTime Playerの機能のほんの一部です。

短いコンテンツのレビューと編集、携帯電話に配信する映画予告編の制作、その他の多くの作業がすべてQuickTime Proで行えます。この強力で使いやすいアプリケーションは、単純なカット/コピー&ペーストの編集からpodcastのオーディオ録音、フルHD H.264の制作、そしてその他のすべての作業をこなします。軽くてお求めやすい価格のQuickTime Proは、鑑賞だけでなく制作に携わるプロにとってパーフェクトなアドオンです。

### Web開発者

Webは、コンテンツを広め、配布するためによく使われるチャネルの1つです。Webを使えば、少ない配布コストでほとんど即座に数百万人の人々に情報を流すことができます。QuickTimeには、ユーザにWeb経由で上質のメディアを配布するためのあらゆる機能が揃っています。クロスプラットフォームの無料のブラウザプラグインとメディアプレーヤーがあれば、MacとWindowsの両方で同じ素晴らしいメディア体験が可能です。

QuickTimeには、Web開発者が最高のWeb体験を構築するための次のような機能が用意されています。

- 低いデータレートで、鮮明でクリアな映像を再生し、帯域幅コストを削減するH.264ビデオ
- クロスプラットフォームのブラウザプラグイン
- ActiveX対応
- インタラクティブコンテンツの作成に使用するMacromedia Flashとスプライト
- 柔軟な配信方式：ストリーミングとプログレッシブダウンロード
- ライブストリーミング

QuickTimeの統合アプリケーション（QuickTime Player、QuickTime Pro、QuickTime Broadcaster、QuickTime Streaming Server）には、魅力的なWeb体験を作成してユーザに提供するためのすべてのツールが揃っています。MPEG-4、3GPP、3GPP2標準が完全にサポートされているので、パーソナルコンピュータにあるコンテンツを、フォーマットやアプリケーションを変更せずに、QuickTime Playerを持たないデバイスやプラットフォームにシームレスに移動できます。

## QuickTimeと モバイルマルチメディア

### 業界をリードするデスクトッププレーヤー

モバイルメディアをネイティブにサポートするアップルのQuickTime Playerは、モバイルマルチメディア標準規格である3GPPや3GPP2をネイティブにサポートすることで、デスクトップコンピュータ上でモバイルコンテンツを再生できます。

### あらゆるユーザに役立つ強力なモバイルコンテンツ 作成ツール

- アップルのFinal Cut Pro、QuickTime Pro、iMovieアプリケーションを使って、3GPPおよび3GPP2コンテンツの編集とエンコードができます。
- QuickTimeアーキテクチャを利用すると、3GPPと3GPP2のオーサリングと再生をネイティブにサポートするMacおよびWindowsの多様なコンテンツ作成アプリケーションを使用できます。

### モバイルメディア配信のための、標準準拠で費用効 率の高いプラットフォーム

- アップルの高度にスケーラブルなXserve、Xserve RAID、Mac OS X Server、QuickTime Streaming Serverを利用して、3GPP/3GPP2準拠の多種多様なハンドセットにマルチメディアコンテンツを配信します。
- 追加コストなしに、無制限のストリーミングが可能です。

### モバイルコンテンツのクリエイターおよびオペレーター

今まさにモバイル革命が起こっています。世界中に張り巡らされた3Gネットワークは、コンテンツクリエイターがメディアを世界に向かって発信するための新しい媒体となっています。QuickTimeプラットフォームには、さまざまな市販のハンドセット用のコンテンツを作成、配信、再生するためのツールがすべて装備されています。

モバイルコンテンツに関して、QuickTimeほどの統合アプリケーションを提供しているテクノロジーは他にありません。QuickTimeは3Gをアーキテクチャの根底でサポートしているので、Final Cut Pro、iMovie、QuickTime Pro、さらにはMacとWindowsの両方で動作する他社製アプリケーションを利用してモバイルコンテンツを作成することさえ可能です。その結果、QuickTimeという同じ基盤の上にさまざまなクロスプラットフォームが選択できるため、作成したコンテンツが現在だけでなく将来にわたって携帯電話で再生できます。

QuickTime Streaming Server (QTSS) は、モバイルオペレーターにとって、マルチメディア対応のデバイスにストリーミングメディアを配信するための理想的なプラットフォームです。RTP/RTSPオープンスタンダードに基づき、高価なストリーミング料金やライセンスなしに、3GファイルのストリーミングをネイティブにサポートするQTSSは、あらゆるモバイル配信のニーズを満たそうとすれば必然的に行き着く選択です。10,000ストリーム<sup>4</sup>に同時に対応できるQTSSは、ビジネスの成長に応じたスケーラビリティとMacintoshの使いやすさを併せ持っています。

最近の携帯電話は、小さなビデオクリップを他の電話に送信したり、emailで友達や家族に送ることができます。3GPP (GSMベースの携帯電話) と3GPP2 (CDMAベースの携帯電話) の両方をサポートするQuickTime Playerは、このようなファイルを再生するパーフェクトなアプリケーションです。ユーザはWebコンテンツを再生するのと同じアプリケーションを使って、携帯電話でコンテンツを再生できます。

### 企業および教育機関

大企業や教育機関では、マルチメディアがコミュニケーションの手段として使用されます。経営陣によるライブ放送から遠隔教育を使った新製品のトレーニングまで、デジタルメディアを利用すれば、旅費や教室の建設費を考えずに、膨大な数の人々と容易にコミュニケーションできます。QuickTimeプラットフォームには、新しい担当部署を設置しなくても、マルチメディアサービスをすばやく簡単に導入できる費用効率の高いエンドツーエンドのツールが用意されています。

UNIXの能力と最新のオープンソースプロジェクトの成果を組み合わせたMac OS X Serverは、既存のネットワーク環境に容易に統合できる標準ベースのサーバオペレーティングシステムです。Mac OS X Serverには、QuickTime Streaming ServerとQuickTime Broadcasterというツールが含まれており、視聴者の数にかかわらず、遠隔教育のソリューションや企業放送システムを構築できます。高価なストリーミング料金やクライアント接続ライセンスは不要なので、人数や受講者数が増えるたびにIT予算を調整する必要はありません。

クロスプラットフォーム対応で無料のメディアプレーヤー QuickTimeがあれば、ユーザはMacとWindowsのどちらでも、メディアをすぐに楽しむことができます。

### アプリケーション開発者

アプリケーションにマルチメディア機能を持たせることは非常に困難です。特にオーディオ/ビデオコーデックやインポーターやエクスポーターについての十分な経験がなければほとんど不可能といえます。このようなテクノロジーを身につけるには時間とリソースが必要ですが、それはコストの増大とプロジェクトの遅れにつながります。しかしQuickTimeプラットフォームを利用すれば、ビデオのキャプチャから編集、さらにはさまざまなフォーマットへの書き出しまで、あらゆる作業を行うために必要な機能がすべて揃っているため、このような問題が解決されます。結果として、QuickTimeフレームワークの機能を利用する方法を学習するだけで、コストをかけて機能を一から作成しなくても、豊富なマルチメディア機能を持つアプリケーションを作成できます。QuickTimeアーキテクチャには、UIKit、QuickTime for Java、ActiveXに加え、2,500以上のクロスプラットフォームのAPIが用意されているので、力仕事はQuickTimeに任せて、優れたアプリケーションを作成することに集中できます。

## QuickTime 7: 必然的な選択

QuickTime 7 Player、QuickTime 7 Pro、QuickTime Broadcaster、QuickTime Streaming Serverの組み合わせによって、エンドツーエンドでHDビデオの作成、配信、再生を行う業界主流のH.264ソリューションが初めて実現しました。革命的なH.264テクノロジーが高く評価されたQuickTime統合製品は、高品質ビデオの将来を見据えるコンテンツプロバイダにとってもはや必需品です。またQuickTime 7 PlayerとQuickTime 7 Proの豊富な機能セットは、マルチメディアを存分に楽しみたい、あるいはすばらしいビデオを作成して共有したいと考えるMacやWindowsのユーザにとって、必須のアイテムです。H.264を備えたQuickTime 7を使って、まったく新しいビデオ体験をどうぞお楽しみください。

### さらに詳しい情報

QuickTimeの製品とテクノロジーについて詳しくは、<http://www.apple.com/jp/quicktime/>をご覧ください。

<sup>1</sup>アップルから配布ライセンスを取得する必要があります。<sup>2</sup>Macは13歳以上のユーザに限りご利用いただけます。インターネット接続が必要です。料金が課金されることがあります。諸条件が適用されます。<sup>3</sup>ビデオキャプチャと共有はMacにおいてのみ可能です。<sup>4</sup>テストには、デュアル2GHz Xserve、Mac OS X Server v10.4でモテムレートのリブストリームを使用。

© 2005 Apple Computer, Inc. All rights reserved. Apple, Appleロゴ、Apple Cinema Display、Cocoa、DVD Studio Pro、Final Cut Pro、iMovie、Mac、Macintosh、Mac OS、Power Mac、QuickTime、QuickTimeロゴは、米国およびその他の国で登録されているApple Computer, Inc.の商標です。iChat、QuickTime Broadcaster、Spotlight、Tigerは、Apple Computer, Inc.の商標です。Macは、Apple Computer, Inc.のサービスマークです。JavaおよびJavaに関連する商標およびロゴは、米国およびその他の国で登録されているSun Microsystems, Inc.の商標です。OpenGLは、Silicon Graphics, Inc.の登録商標です。この資料に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。この資料の記載内容は、2005年10月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告なく変更することがあります。この資料は情報提供のみを目的とするもので、アップルではその使用に関連する一切の責任を負いません。